

バランスシート（貸借対照表）からわかること

平成20年度のバランスシートを、普通会計と比較しました。

【普通会計】

塩 竈 市		市民1人当り で見ると	市民1人当り	
資産 655億円	負債 239億円		資産 113万円	負債 41万円
	正味資産 416億円		正味資産 72万円	

【連結会計】（普通会計+企業会計+公社）

塩 竈 市		市民1人当り で見ると	市民1人当り	
資産 810億円	負債 363億円		資産 139万円	負債 62万円
	正味資産 447億円		正味資産 77万円	

（H21.3.31現在 58,097人で算出）

資産総額は、810億円（市民1人当り139万円）

有形固定資産は約709億円で資産の87.5%を占めています。大きなものでは、水道事業で約103億円が普通会計の貸借対照表に加わっていることになります。

負債総額は、363億円（市民1人当り62万円）

固定負債の「地方債」と流動負債の「翌年度償還予定額」をあわせた地方債総額は約308億円で、負債の84.9%を占めています。

正味資産総額は、447億円（市民1人当り77万円）

一般財源・剰余金等は311億円で正味資産の69.6%を占めています。

コスト計算書からわかること

平成20年度の行政コスト計算書を、普通会計と比較しました。

【普通会計】

塩 竈 市		市民1人当り で見ると	市民1人当り	
費用の部 175億円	収入の部 168億円		費用の部 30.1万円	収入の部 28.9万円
当期純剰余金 7億円		当期純剰余金 1.2万円		

【連結会計】（普通会計+企業会計+公社）

塩 竈 市		市民1人当り で見ると	市民1人当り	
費用の部 210億円	収入の部 207億円		費用の部 36.1万円	収入の部 35.6万円
当期純剰余金 3億円		当期純剰余金 0.5万円		

費用の部

普通会計に比べ、1.20倍となっています。主な内容は、企業会計との経費の相殺消去により補助費等が約9.0億円減少しましたが、人件費で約1.9億円、物件費で約1.7億円増加しています。

収入の部

普通会計に比べ、1.23倍となっています。主な内容は、病院等事業収益で約2.3億円、水道事業使用料収入で約1.7億円増加しています。

当期純剰余金

行政コスト計算書では、約3億円の純損失となっています。これは、水道事業会計及び病院事業会計においては純利益を確保したものの、普通会計及び土地開発公社において純損失が生じたことによるものです。

当期末一般財源等

普通会計に比べ、4.5億円減少し2.36億円となっています。これは、病院事業会計における当該年度未処理欠損金5.4億円が主な要因です。